



8月15日(木)  
朝7:30 ~ 正午12:00

### 山門施餓鬼会

(さんもんせがきえ)

水向料は一家 12,000円となります



毎年各お寺では、暑い盛りに施餓鬼会が行われます。  
大智寺でも近くの和尚様を数名お呼びする、  
大切な年間行事となっております。

施餓鬼会には、新亡者の初盆を迎えられるご家庭および  
ご先祖様の盆供養をなさるご家庭の方々  
お寺へお参りくださり、その足でお墓参りをなさいます。

「施餓鬼」の文字を見てみると、「鬼」という字があるためか  
恐ろしいイメージが湧いてきますが、地獄のお話につながって  
います。

子どもの頃、食べ物やお水を食べようとすると炎に変わってし  
まう餓鬼道地獄の物語を聞いたことがある方もいらっしゃる  
と思います。餓鬼道地獄とは、目の前の食べ物を食べたくても  
食べられない、飲みたくても飲めない、飢えの苦しみを与えら  
れる恐ろしいところです。



生きている間、人は「もっと欲しい、もっと食べたい」と  
なかなか満足することができません。

その上、「他人のことなど気にしてられない、自分さえ  
良ければ、家族さえ良ければ」という心が芽生えてきます。

そんな心の持ち主が、餓鬼道地獄に堕ちると言われます。

亡くなられたご家族が、そんな悶絶の苦しみを味わう地獄に  
いたとしても、この世に残された私達が餓鬼道地獄に堕ちた  
すべての亡者(餓鬼)に食事やお水の施しをすることにより、  
引いては、ご家族をも地獄から救済することができる、  
それがこの施餓鬼供養なのです。

そのため、正面には多くの餓鬼に施す山盛りのご飯と、洗米、  
シキミの枝が入ったお水を用意し、法要の際にはご先祖様  
のお位牌にご焼香していただいた後、洗米を餓鬼に供養して  
いただき、シキミの枝で水向けをしていただきます。



お釈迦様は「足ることを知る人は、貧しといえども富めり、  
足ることを知らないものは、富めりといえども貧し」  
とおっしゃられております。

この山門施餓鬼会にて地獄の餓鬼を救うとともに、  
「足るを知る」という気持ちを家族みんなで分かち合い、  
自分のことも、他人のことも大切にできる、やさしい心を  
子々孫々伝えてゆく機会にさせていただければと願います。

# 大智寺だより

平成25年 葉月  
Vol.42

発行所

## 大智寺

岐阜市山県北野  
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地  
の水小屋にてご自由にお取り  
いただけます。  
又、当寺ホームページにて  
過去すべての紙面をご覧いた  
だけます。ご活用ください。

7月号発行部数  
200部

ご愛読

ありがとうございます

マガジンハウス

雑誌『クロワッサン特別編集 初めての写経』に掲載されます



あの悲惨な災害から2年半、大智寺では東日本大震災物故者追善供養のため、毎月一回写経会を開き、心静かに物故者方々のご冥福をお祈りしてまいりました。遠く離れてはいるものの、少しでもお役に立てればと、義援金も集めております。

今回雑誌「クロワッサン」の特別編集では「初めての写経」を企画されるそうで、こんなひっそりとした大智寺の写経会ではありますが、「全国の写経ができるお寺30ヶ寺」の中でご紹介いただくことになりました。雑誌発売が楽しみです。（2013年 9月12日発売予定）

獅子門道統 第27世 長屋其馨（ながやきけい）

岐阜新聞 中濃版『(続)今を築いた中濃の人びと』に掲載されます

大智寺の小僧として幼少期を過ごした俳人 各務支考の立ち上げた美濃派（獅子門）の第27世道統に、長屋其馨（ながやきけい）という方がいらっしゃいます。幼い頃から俳句に親しみ60歳で道統補佐を命じられ、各務支考の百回忌法要を執り行うとともに、その追善集として「名の木の夢」を出版したことで知られています。70歳の頃には、大智寺獅子庵の歴代道統鑑塔周辺の整備に尽力され、74歳でついに第27世 獅子門道統となられ、過去21世から26世までの句碑を建立し、大智寺にて建碑式・追善供養を成し遂げられました。

今回岐阜新聞を通して そんな長屋其馨を多くの方に知っていただければ幸いです。（2013年 8月30日掲載予定）



～ シリーズ 美濃西国三十三観音霊場 その② ～  
4年に一度の総開帳 平成26年4月6日（日）～4月20日（日）

霊場めぐり ひとくちメモ

観音霊場めぐりを始める際には、まず「奉納経（御朱印帳）」を用意します。

この奉納経は、文字が既に印字されている霊場会専用のものと、全国どこの霊場会でも受け付けてくれる白紙のもの2通りあります。その昔は、各お寺に写経を奉納した証しとしてご朱印をいただいていたので、「奉納経」「納経帳」と呼ばれます。

今も特に願掛けをなさる方などは、写経の最後に「〇〇の為」という文をつけて33ヶ寺に写経を奉納されております。



霊場のご紹介

第四番札所：高野山真言宗 宝勝院（美濃市） ご開帳：聖観音菩薩  
うだつの上がる町並みの中のお寺、市指定文化財の旧有知学校校舎もぜひご覧ください。

第五番札所：臨済宗妙心寺派 永昌寺（関市） ご開帳：十一面観音菩薩  
仙厓和尚の両親を弔うお寺、門前のお助け地蔵にもお参りしつつ霊場めぐりを進めます。

第六番札所：臨済宗妙心寺派 恵利寺（関市） ご開帳：十一面観音菩薩  
大智寺から一番近い札所、帝のご病気を癒したとされる十一面観音菩薩をお参り下さい。

お寺では、これから観音霊場巡りをなさる方に、奉納経（一冊500円）をご用意しております。この奉納経は、各お寺のご朱印をいただくための 美濃西国三十三観音専用のものとなります。

～ 観音様の教え 『延命十句観音経』 ～



第二句：南無仏（なむぶつ）



子どもも唱えられる 一番短いお経から、  
観音様の教えを簡単にご紹介。

よく子どもが仏壇に向かって「ナムー」とか「ナムナム」とか言いますが、  
「南無」とは、おおまかには「信じます」という意です。  
もう少し仏教的に言うと、「帰依（きえ）します」ということになります。

「帰依する」とは、どういうことでしょうか。  
何に「依（よ）って」、どこへ「帰る」のでしょうか。

ここで大切なのが、三文字目の「仏」です。

私達の信じる仏教思想では、お釈迦様と同じ純粹無垢な心「仏心（ぶっしん）」を  
だれもが生まれつき持っている、と説いています。

つまり「仏」とは、自分の心の中の仏心を指しており、  
その仏心を信ずることに「依（よ）って」、悩み苦しみのない安らぎへ「帰りなさい」  
と観音様は教えて下さっています。

「帰る」とは、どこか知らない遠くへ行くことではありません。  
帰る先は自らの仏心であり、自らの仏心を信じるところにこそ人生の安らぎがあるのです。

今夏のおひまわり

灼熱の太陽の下、残暑きびしい折ですが 皆様  
お変わりありませんか。みずみずしく弾けそうなト  
マトやお茄子、力強いのびたキュウリを見てみると  
「どうしてそんなに元気なの？」と聞きたくなる  
くらい、人間の方はこの暑さで参っています（笑）

さて毎年夏が来ると、大智寺ではアオバズクの  
夫婦が巣を作ります。アオバズクは、インドネシア  
やタイ、ミャンマーやマレーシアなど東南アジアに  
暮らしているフクロウですが、夏季になると繁殖の  
ために中国や日本、朝鮮半島に飛来します。

「ホッホツ」と規則的に鳴き、夜は活動的に餌を  
探しますが、昼間は大きな目をぱちぱち開いて木の  
上でじっとしています。昼間にじっと動かないこと  
が幸いしてか、一カ月ほどの間 大勢のカメラマン  
の熱い視線を一身に受け、立派なモデルを務めてい  
ます。長さ60センチ以上あるような、望遠鏡みた  
いなカメラを担いで、朝早くから撮影している  
男性陣も「今日はヒナが顔を出した」などと夏休み  
中の子どもたちのように目をキラキラさせています。

いろいろな日常を忘れ、  
アオバズクでも何にでも  
夢中無心、三昧になれる  
のが、夏休みの醍醐味です。  
夢中になって遊んでいる、  
そんな雑念のない澄んだ目に  
この夏もたくさん出会えます  
ように。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里5号のおばあちゃん 夏バテに効く きゅうりピクルス

- ① 空きピンを用意し、ピンの大きさに合わせてキュウリ4本を切って  
ちょっと塩でもんで水分をしぼっておく。
- ② 鍋に水 200cc、酢 200cc、砂糖大さじ3、塩大さじ1を入れて火にかける
- ③ 沸騰したら火を止め、鍋の中にきゅうりを入れ、あらびきこしょうと  
ローリエ、お好みでんにく1片と唐辛子を入れ、3時間ほどほっておく。
- ④ そっと空きピンにきゅうりとピクルス液をいれて2日後においしく食べる。



お酢は身体にええでねえ。孫がハンバーガーのピクルスが好きやで作ってみたんやて。どーやろ？



# ～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第八回：妙心寺開山 関山慧玄（無相大師）



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

1329年「雲門の関字」の公案で大悟された関山慧玄（かんざんえげん）は、美濃の伊深にお隠れになり、改めて「悟後の修行」に励んでおりました。

時は流れて、8年後の1337年

時代は1333年に建武の新政が始まったものの2年半で崩壊し、長い南北朝時代に突入した頃。

以前より大徳寺の大燈国師の下へ参禅し、禅宗を信仰していた花園法皇は、自らの離宮（花園御所）を禅寺にし、ますます禅の修行に励みたいと思立ちます。その時すでに病気に伏し重態であった大燈国師から、「正法山 妙心寺」と命名され、また「その寺の開山には関山慧玄を」との推挙を受け、ついに美濃伊深で8年間修行をしていた関山慧玄が都に迎えられることとなりました。

1337年妙心寺開創の年に、大燈国師はお亡くなりになりましたが、関山慧玄は師の思いを受け継ぎ、妙心寺にて厳格な禅風を守り弟子の指導に尽力なさいました。そして1360年 84歳の時、旅支度をして「行脚に出る」と言い妙心寺の「風水泉」という井戸の辺で遺戒をし、立ったまま息を引き取ったと伝えられています。その後、関山慧玄は明治天皇より「無相大師（むそうだいし）」と追諡されています。

南浦紹明（大応国師）から宗峰妙超（大燈国師）を経て関山慧玄へ続く法系を「応灯関」といい、現在、日本臨済宗はみなこの法系となっています。



## ♪ 月に一度はお寺まいり ♪



**初心者 大歓迎**  
東日本大震災物故者追善供養  
毎月 第四日曜日  
定例写経会

### 今月の日程

8月25日（日） 一回 500円  
（朝8時～9時） （内300円は義援金）  
要申込

### 7月写経会 備忘録

久しぶりに涼しい朝となった7月の写経会。観音経には何度も「念彼観音力（ネンピカンノンリキ）」という言葉がでています。観音様のお力を念ずればいろいろな苦しみから救われるということを仏様はたとえ話をういて説いておられます。写経会を終え、今月は参加者の方からおいしい収穫物をお土産にいただきました。ありがとうございました

## 永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



**完全個別永代供養墓**  
1区画：38万円～  
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。